

定期作況報告

(平成 21年 7月 20日現在)
北海道立上川農業試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。

6月下旬：平均最高気温が 20.6℃（対平年比 +3.0℃、以下同じ）、平均最低気温が 12.7℃（+2.3℃）と平年より高かったため、平均気温は 16.2℃（+2.3℃）と平年より高かった。降水量は 23.5mm（84%）と平年並であった。日照時間は 59.6時間（127%）と平年よりやや長かった。畑地温は 11.1℃（-1.7℃）と平年より低かった。

7月上旬：平均気温は 15.3℃（+0.3℃）と平年並であった。降水量は 41.5mm（134%）と平年よりやや多く、日照時間は 29.1時間（62%）と平年よりやや短かった。畑地温は 11.6℃（-2.4℃）と平年より低かった。

7月中旬：平均最高気温が 16.7℃（-2.7℃）、平均最低気温が 10.9℃（-2.5℃）といずれも平年より低かったため、平均気温は 13.4℃（-2.9℃）と平年より低かった。降水量は 78.5mm（196%）と平年より多く、日照時間は 25.0時間（53%）と平年より短かった。畑地温は 11.6℃（-3.4℃）と平年より低かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は 15.0℃（-0.1℃）と平年並であった。降水量の3旬の合計は 143.5mm（145%）と平年より多かった。日照時間の3旬合計は 113.7時間（81%）と平年並であった。畑地温は 11.4℃（-2.5℃）と平年より低かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に、降水量は平年よりもやや多く推移している。

a. 気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	16.2	13.9	2.3	15.3	15.0	0.3	13.4	16.3	△ 2.9	15.0	15.1	△ 0.1
平均最高気温（℃）	20.6	17.6	3.0	18.3	18.7	△ 0.4	16.7	19.4	△ 2.7	18.5	18.6	△ 0.1
平均最低気温（℃）	12.7	10.4	2.3	12.6	11.7	0.9	10.9	13.4	△ 2.5	12.1	11.8	0.3
降水量（mm）	23.5	28.1	△ 5	41.5	30.9	11	78.5	40	39	143.5	99.0	44.5
降水日数（日）	6	4	2	5	3	2	8	4	4	19	11	8
日照時間（hrs）	59.6	46.8	12.8	29.1	46.8	△ 17.7	25.0	47.2	△ 22.2	113.7	140.8	△ 27.1
平均畑地温（10cm,℃）	11.1	12.8	△ 1.7	11.6	14.0	△ 2.4	11.6	15.0	△ 3.4	11.4	13.9	△ 2.5
最多風向	E			EWE			E					
平均風速（m/s）	3.3			3.3			2.8					

注1）平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2）平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3）降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4）△印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月 21日～7月 20日）

	平均気温 （℃）	降水量 （mm）	日照時間 （hrs）	畑地温 （℃）
本年	1,021	300	436	819
平年	1,044	243	459	910
比較	△ 23	58	△ 23	△ 91

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（1番草～2番草）

作況：平年並

事由：1番草の収穫時草丈は平年より11cm高く、乾物収量は平年比100%と平年並であった。

7月21日現在の草丈は平年より12cm高かったが、1番草刈取り後に適度な降水があったため、順調に再生していると考えられた。

以上より、目下の作況は平年並である。

調査項目：

収 穫 期（月・日）			収 穫 時 草 丈（cm）			草 丈（cm・7月21日現在）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6.24	6.23	1	112	101	11	43	31	12

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
3,814	3,753	61	19.2	19.6	△0.4	732	735	△3	100%

注）平年値は前7年のうち、平成14年（最凶年）及び平成20年（最豊年）を除いた5年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（3番草）

作況：やや良

事由：草丈は平年より15cm高く、乾物収量の平年比は165%と平年より高かった。乾物率は平年よりやや低かった。6月下旬以降の3旬の平均気温は平年並であったが、降水量が平年より多かったために生育が順調で、多収かつ乾物率がやや低下したと考えられた。

以上より、目下の作況はやや良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
47	32	15

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
1,026	591	435	17.7	19.1	△1.4	182	110	72	165%

注）平年値は前7年のうち、平成18年（最豊年）及び平成19年（最凶年）を除いた5年平均値。